

関係各位

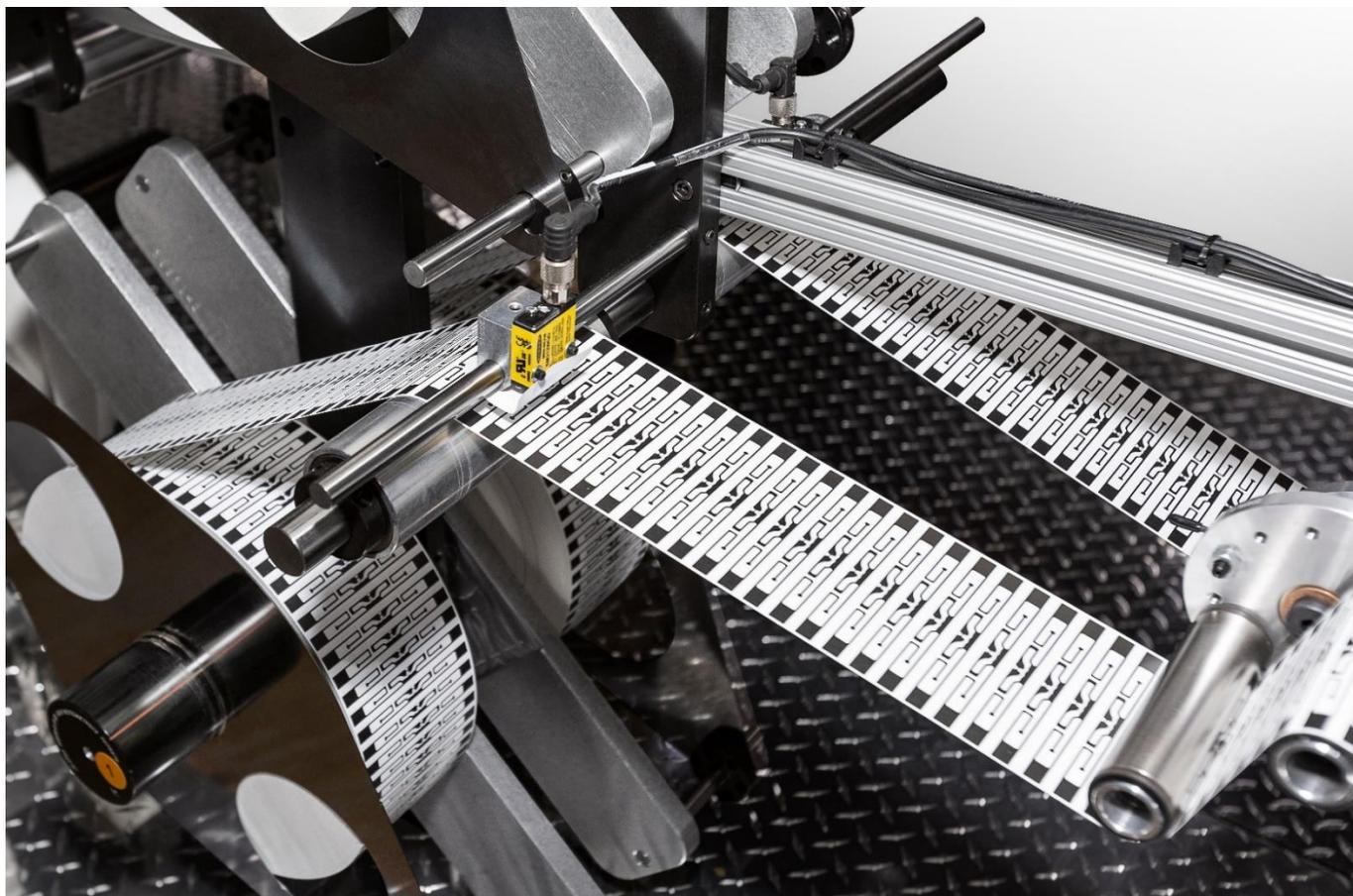
2021年4月1日
株式会社クロスリンク・パシフィック

Repacorp 社、RFID ラベルとタグの製造に関する 包括的なパートナーシップを MarkAndy 社と締結

RFID ソリューションへの関心の高まり

「ヒューマンエラーを排除する必要がある顧客には RFID を使用する理由があります」と 15 年前にこのテクノロジーに投資した印刷会社である Repacorp 社(米国)の副社長である Rochelle L. Heini 氏は述べています。同社は、様々な革新的なラベルや RFID 製品を顧客に提供して成功を収めてきました。Repacorp 社は当初から、RFID の生産を MarkAndy 社製の高度なナローウェブ印刷機に集中的に任せてきました。

「RFID はようやく持ち直しているようです」と Heini 氏は述べています。「この製品ラインへの関心は昨年にピークを迎え、テクノロジーに対する顧客の理解が深まり、全体的な適応が進んだと思います」。最近、大手小売店がこのテクノロジーを広く導入し、RFID ラベルを多くの小売企業に提供している Repacorp 社に大きな成長をもたらしました。



Repacorp 社は小売り業の多くのブランド所有者と協力してきた一方で、その RFID テクノロジーは、それだけにとどまらず、自動車、競技計測用アンテナ、ヘルスケア、倉庫追跡など、他の業界でも使用されています。「このテクノロジーにはさまざまな用途があります。倉庫で RFID を在庫管理に活用しているお客様の中には、倉庫の作業員を 6 人から 2 人に削減し、棚にある商品の管理精度を 81% から 98% 以上に高めることができたお客様もいます」と Heini 氏は続けます。

自動化された操作、強化された製品の提供

Heini 氏が指摘するように、RFID テクノロジーのユーザーは、主にヒューマンエラーを排除する能力を高く評価しています。「RFID によりプロジェクトの精度と一貫性を大幅に向上させることができます。たとえば、小売在庫管理の場合、買い物客がある商品を購入しに店舗に行ったとき、その商品が在庫されているにもかかわらず決められた場所がない場合、消費者がその他の商品を買う可能性は低く、また次回、同じ商品を購入するときには別の店舗を検討する可能性があります。RFID テクノロジーを使用すると、店員が棚にあるはずの商品を見つけることができない場合、最後にスキャンされた場所を示す RFID アプリを使用して商品を追跡し、顧客の商品購入をサポートすることができます。」

Repacorp 社は自社の倉庫でも RFID テクノロジーを使用しており、在庫追跡がより簡単で便利になることをよく理解しています。「RFID は印刷されたラベルのロットをすばやく見つけるのに役立っています」と Heini 氏は述べています。

印刷加工業者はフレキシソとデジタルで印刷されたラベル(ブランクからプレミアムまで)、シュリンクスリーブ、軟包装など非常に多様な製品を製造しています。「Repacorp 社には、業界で最も多くのインプリント/エンコードされたラベルを出力できる機器があります」と Heini 氏は強調します。「顧客の製品ニーズを満たすために、私たちの革新的な印刷機は、顧客から提供されたデータベースまたは一連の数値を取得すると迅速に加工することができます。事前に番号が付けられたラベルの必要性が業界で高まるにつれて、当社はこうした製品を供給するための優れたパートナーになるでしょう。」

MarkAndy 社との長期的なパートナーシップ

Repacorp 社は設立以来、MarkAndy 社と提携して高品質の資本設備を購入してきました。Heini 氏は、次のように述べています。「RFID モジュールを統合した MarkAndy 社のソリューションは私たちのニーズに基づいて構成されています。MarkAndy 社は当社の製品ラインすべてにとって素晴らしいパートナーです。シュリンク業界から RFID まで、MarkAndy 社は素晴らしいサポートを提供してきました。彼らはさまざまなサプライヤーと非常に熱心に協力して私たちのために本当に素晴らしい機器を構成し、提供してくれました。現在、このパートナーシップにより、当社は市場をリードする RFID 加工業者の 1 つになっています。」



Repacorp 社の副社長である Rochelle L. Heini 氏は、Mark Andy 社製 Performance Series P7 での生産と RFID アプリケーションについて貴重な意見を提供しています。

Repacorp 社は、2000 年代半ばに RFID ラベルとタグの製造を開始しました。それ以来、同社は MarkAndy 社製の印刷機を 4 台設置しました。Heini 氏は同社の生産規模を説明し、「10 インチから 20 インチのウェブを加工し、前面または背面を最大 8 色に印刷できるようになりました。すべての印刷機にインラインで RFID 挿入、ダイカット、データの検証を行っており、データ重複をチェックしながら、複数のレーンを高速で印刷およびエンコードすることができます。当社の多様な機器構成により、最も単純なものから最も困難な RFID プロジェクトに取り組むことができます。」と述べています。

「RFID の採用は拡大しています。今日の世界では多くの企業が施設内の作業を自動化する方法を検討しています。これを実現するための優れた方法は、RFID テクノロジーを使用することです」と Heini 氏は結論付けています。

トピック:フレキシソ、RFID

Posted by Lena Chmielewska on Jan 29, 2021